

# 「環境教育揭示用教材 第3号」の補助資料の活用例

児童・生徒の持続可能な社会を構築していくための資質・能力の更なる育成を図ることを目的として作成した「環境教育揭示用教材 第3号」(下の二次元コード・リンク参照)の内容を、より深めるための補助資料・活用例・ワークシートです。本補助資料は、一人1台端末を活用して、リンク先のホームページ等から情報を収集し、収集した情報を基に話し合いを行う等、児童・生徒が主体的に学習に取り組むことができます。

## 補助資料の活用例

### ごみにする前に できること

揭示用教材



補助資料



ワークシート



- ① **ねらい** ごみを減らして資源を大切に、持続可能な社会をつくろうとする態度を育成する。
- ② **環境教育における主な内容 (ESDの構成概念)** 資源の循環(相互性)、自然や生命の尊重(多様性・公平性)、生態系の保全(相互性・責任制)、生活様式の見直し(責任性)  
※環境教育指導資料 P8、P9 参照 (二次元コード・リンク参照)
- ③ **関連するSDGsの目標** 【SDGs12】 つくる責任 つかう責任 (小学校・中学校共通テーマ)  
【SDGs14】 海の豊かさを守ろう、【SDGs15】 陸の豊かさを守ろう

#### ④ 主な活動

○活動内容	□教師の支援 ●留意点	◆補助資料等との関連 ■関連リンク
<p>○補助資料①を見て、荒川の堤防近くで見られるごみについて、どんなごみが見られるか、これらのごみはどこから来たのか等、話し合う。</p> <p>○補助資料①の「川から流れ出した海洋プラスチックごみの問題」について知る。</p> <p>○補助資料②を見て、3Rについて知る。</p> <p>○補助資料③環境局「3つのR」や経済産業省「レッツゴー3R」のホームページを見て、3Rについて理解を深める。</p> <p>○補助資料②の「ランドセルの寄付(リユース)」について知る。</p> <p>○補助資料④を見て、ごみを捨てるときに気を付けることや、ごみを減らすために自分ができることは何かを話し合う。</p> <p>○気付いたことや感想を発表する。</p> <p><b>※話し合いや発表の場面では意見交換やブレゼンテーションができるソフトやアプリを活用した授業展開が考えられる。</b></p>	<p>●生活ごみが多いことや僅かなポイ捨てでも、大量のごみになってしまうことに気付かせる。</p> <p>●堤防近くのごみが海に流れ、海洋プラスチックごみになり、さらにそれを生き物が食べてしまうことを説明する。</p> <p>□必要に応じて、国立科学博物館「シロナガスクジラ」を提示する。</p> <p>●日常生活で、3Rに結び付く同じようなことがあったら発表させてもよい。</p> <p>□経済産業省「3R」の副読本を個人端末に配信し、個人で確認させてもよい。</p> <p>□国際協力 NGO ジョイセフ「思い出のランドセルギフト」で、ランドセルが寄付されている様子を提示してもよい。</p> <p>●ごみを減らすことや資源を大切にすることが、環境を守ることに繋がることが気付くよう振り返らせる。</p>	<p>◆補助資料① ◆環境教育指導資料 P40～ ◆ワークシート① ◆ワークシート② ■ <a href="#">国立科学博物館「シロナガスクジラ」</a></p> <p>◆補助資料② ◆補助資料③ ■ <a href="#">東京都環境局「3つのR」</a> ■ <a href="#">経済産業省「レッツゴー3R」</a> ■ <a href="#">経済産業省「3R」</a> ■ <a href="#">国際協力 NGO ジョイセフ「思い出のランドセルギフト」</a></p> <p>◆補助資料④ ◆ワークシート③</p>

※東京都教育委員会ホームページで、本補助資料を公開しています。環境教育指導資料及び環境教育揭示用教材も公開しておりますので、併せて御活用ください。

[補助資料本資料](#)



[環境教育指導資料 教師用](#)



[環境教育揭示用教材 児童・生徒・教師用](#)



# ごみにする<sup>まえ</sup>前に できること

ねん 年      くみ 組      なまえ 名前

① あら<sup>かわ</sup>川のてい<sup>ちか</sup>ぼう近くでみられる ごみ は、どんな ごみ かな。



② あら<sup>かわ</sup>川のてい<sup>ちか</sup>ぼう近くでみられる ごみ は、どこ<sup>き</sup>から来たのかな。



③ ごみ をへらすために、自分<sup>じぶん</sup>たちに<sup>なに</sup>できることは何かな。

